

6月は土砂災害防止月間です 土砂災害から身を守るために・周防大島町土砂災害ハザードマップの活用を！

今年も大雨による崖崩れや河川の氾濫による災害が発生する時期となりました。毎年この時期には全国各地で豪雨による災害が発生しています。

このため、周防大島町では、土砂災害による被害を未然に防止するため、「周防大島町土砂災害ハザードマップ」を作成し、5月に町内全世帯に配布しました。いま一度確認してください。

災害から身を守るためには、避難場所・避難をする道順を決めておく、また、食料品、懐中電灯、飲料水などを入れた非常持ち出し袋を準備しておくなど、日頃の備えが大変重要です。

今回は、大雨による土砂災害による被害を防止するための情報をお伝えします。

▼災害の「前兆現象」・「前ぶれ」

土砂災害が発生する前に「前兆現象」、「前ぶれ」がある場合があります。危険な箇所には日頃から注意し、家族で前兆現象を確認しておきましょう。いつもと違う！、初めて見た・聞いた、異常を感じたらできるだけ早く周りの人と安全な場所に避難しましょう。

また、その際は、役場、柳井土木建築事務所等にご連絡ください。

こんな場所・現象を見たら…、聞いたら… 早めに避難！

●がけ崩れ



- ・がけや斜面に亀裂が入る

●がけ崩れ・地すべり



- ・斜面から水が吹きだす。
- ・斜面の水が濁る

●がけ崩れ・地すべり



- ・小石がバラバラ落ちてくる

●地すべり



- ・地面にひび割れが入る

●地すべり



- ・沢や井戸の水が濁る

こんな前兆現象に注意！

●土石流



- ・山鳴り、立木の裂ける音などがする

●土石流



- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる

●土石流



- ・川の水が急激に濁る。
- ・流木が流れてくる

▼大雨警報

平坦地で1時間の雨量が80ミリ以上、その他で1時間に50ミリ以上の降雨が予想される場合に大雨警報が発令されます。



激しい雨により、側溝や下水から水が溢れ、家屋への浸水、土石流やがけ崩れなどの土砂災害が発生する恐れがあります。

警報が発表されたら、十分な警戒が必要です。

▼洪水警報

大雨、長雨により、河川の増水や氾濫、堤防の決壊により、家屋の浸水が予想される場合に発令されます。

▼土砂災害警戒情報

大雨警報が発令され、大雨が予想される中、土砂災害が発生する危険性が特に高くなった場合、避難勧告や自主避難の判断基準として、下関地方気象台と山口県が共同で発表する大変重要な情報です。

周防大島町では、土砂災害警戒情報が発令された場合、町防災行政無線でお知らせします。